

# 尾道市 ICT-BCP【ICT部門の業務継続計画】概要

## 1 基本的な考え

### ■ 計画策定の目的

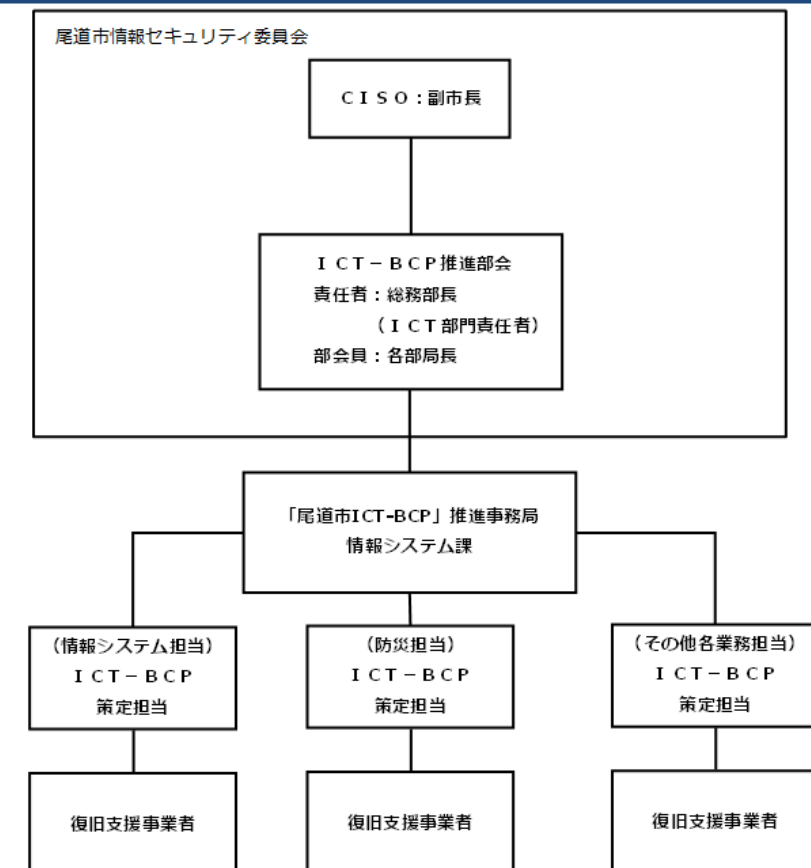
尾道市の業務の多くは情報システムに依存しており、災害発生直後において、必要な資源が失われている可能性がある中で、住民の安全確保や市の重要業務への早期復旧を図るため、ICT部門の被害を最小限にとどめ、速やかに復旧することを目的とする。

事前に復旧を優先すべき業務、バックアップ体制、復旧手順、指揮命令系統、初動対応などの計画を策定し、市の災害時における初動業務の開始が即時に行えるよう備える。

### ■ 計画の基本方針

- ・住民及び職員の安全確保を第一とする。
- ・住民の安全確保、生活及び経済活動の早期復旧に必要なシステム・インフラを最優先で復旧する。
- ・定期的に取り組状況を評価し、適宜見直しを行う。
- ・予防措置は、最低限必要な対策及び費用対効果の高い対策を優先する。
- ・代替拠点での復旧作業も想定する。

## 2 推進体制（平常時）



## 3 被害想定

・被害想定は、尾道市業務継続計画【地震対策編】(H28.3)に基づく。

・拠点ごとのシステム・インフラの被害想定

①現庁舎継続使用の場合（現庁舎で復旧の想定）

②代替拠点移動の場合（代替拠点で復旧の想定）

長者原スポーツセンター

尾道消防防災センター

## 4 重要業務、システム・インフラ

発災後の非常時優先業務のうち災害対応業務に併せ、ICT部門が支援すべき初動業務を定めた。初動業務に必要なシステム・インフラごとに被害想定を行い、復旧開始までの目標時間を1時間以内から6時間以内に設定した。

## 5 事前対策

### ■ 情報システムとバックアップ

市の保有する情報システムごとに保守事業者、サーバやデータの復旧とバックアップ体制の現状を調査した。データのバックアップは日次で取得しており、データの復元時点は前日となっている。

主要な外部委託事業者との災害時の協力関係については、契約事項ではないが、積極的なサポート体制を構築している。

### ■ 職員の参集

就業時間外に被災した場合のICT部門の3時間以内の参集率を想定した。

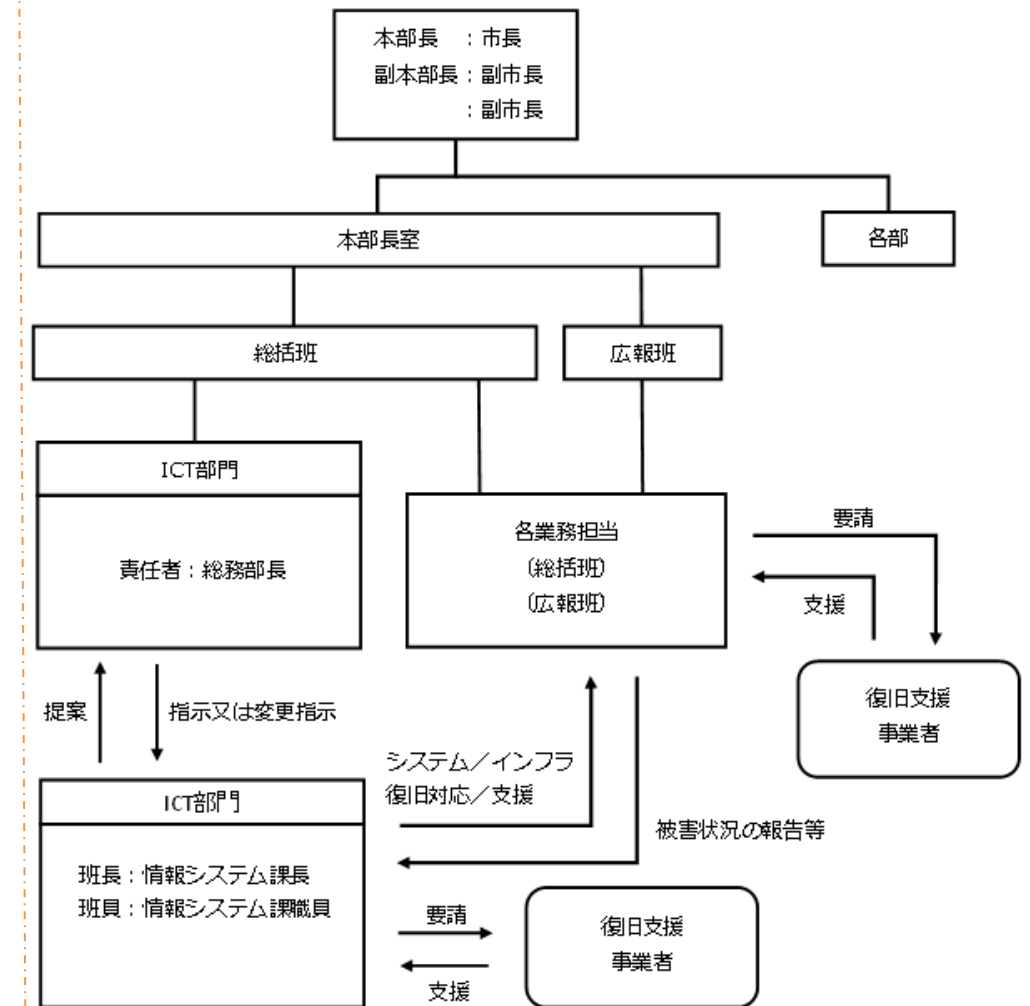
### ■ 現状のリスク分析と対策

現状システム・インフラのリスク分析とその対策を整理した。ただし、対策が現時点で未決定の場合があるが、抜本的な対策は新庁舎（建設時期平成32年）で改善される。

## 6 緊急時対応・復旧計画

### ■ 緊急時対応体制

尾道市災害対策本部（非常体制2号時）



### ■ 復旧計画

ICT部門職員の発災後の参集場所・連絡方法や復旧手順（就業時間内6時間以内、就業時間外9時間以内）を具体的に定めた。

## 7 今後の取組

本計画を最新の内容で運用するために、運用管理チェックシートを用いて、定期的な見直しを行う。また、定期的に教育・訓練を実施し、職員の災害対応力を高める。